

議会審議のポイント

平成26年度 一般会計予算 修正可決

第1回能勢町議会定例会に提出された平成26年度一般会計予算は、新学校建設、消防常備化、火葬場建設の大型プロジェクト予算が計上されましたが、一部の予算について長尾義和議員から修正動議が提出され、審議の結果、次のとおり可決されました。

提出予算額	修正予算額	修正後の予算額
60億2,600万円	△3,417万1千円	59億9,182万9千円

◇◇修正予算の内容◇◇

◎魅力化事業プロジェクト 905万円を減額

(6次産業化分野) 350万円を減額

地域活性化に向け地域資源を軸とした産業を創造し、コミュニティ機能の再生や人材の定着に取り組むため、地域再生マネージャーを招へいする。

(教育分野) 555万円を減額

①人材育成に係る 330万円を減額

町の活性化に向けた次代を担う人材の育成のため、6次産業化分野と連携を図り、小中高一貫教育の発展をめざすため、地域再生マネージャーを招へいしキャリア教育の充実、国際交流等を推進する。

②学力向上に係るもの 225万円を減額

次代を担う子どもたちの学力向上に向けた取り組みを推進するため、小中高一貫教育において、学力面でのさらなる強化に向け放課後教室を開設する。また、教育アドバイザーを招へいし、英語教育の充実などを図る。

修正理由

魅力化事業プロジェクトは、全容がわかりにくく、十分な説明と議論が必要と考える。

取り組み姿勢については一定理解を示すが、事業イメージと予算との関連が不明瞭で、外部人材に依存しすぎる予算であり熟考を要する。

◎野外活動センター跡地活用計画策定事業 300万円を減額

旧野外活動センターのポテンシャルを最大限に引き出し、地域の賑わいの創出や活力の向上など地域活性化に繋がる利活用計画を策定するための業務を委託する。

修正理由

平成25年度に外部委託し一定の成果は出ている。引き続き、多額の予算を使用して跡地利用計画の策定を外部委託する必要性はない。

◎協働事業交付金（提案型まちづくり事業） 90万円を減額

自治区を対象とした協働事業交付金に加え、新たに区以外の地域自治組織等も対象とした提案型の事業補助についても実施する。

修正理由

この制度をこれから周知していくという進め方に疑問を抱く。地域自治組織等からの要望に基づき制度の創設を考えるべきである。

◎地域イントラネット事業 1,972万1千円を減額

地域イントラネットの基盤施設に係るサーバー機器等の入替えを行う。

修正理由

事業者との協議等が不十分と考える。適切な時期に再提案していただきたい。

◎不法投棄監視カメラ設置事業 150万円を減額

町内の美化向上と衛生管理に努めるため、不法投棄対策として監視カメラを2台設置し、強化を図る。

修正理由

必要性は理解するが、これまでから防犯カメラの必要性を提案している。抑止力の拡大を図るため、一体的な取り組みを考えるべきである。

修正案に対する賛否……可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	原田健志	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	長尾義和	美谷芳昭	山本光晴
○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	議長

修正可決された部分を除く原案に対する賛否……可決

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	原田健志	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	長尾義和	美谷芳昭	山本光晴
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長